

WEBINAR概要

現在の歯科医療では、歯周炎にせよインプラント周囲炎にせよ、**細菌感染コントロールを最重要**と考えプラークコントロールやバイオフィルム破壊の精度を上げることをはじめ、抗菌剤を用いるなどの**感染制御に重心が置かれた治療**が行われている。

しかし、炎症が成立する原因は感染のみに限ったものではなく、DAMPs (Damage Associate Molecular Patterns) のような**非感染性の炎症**も多い。

また、感染性にせよ非感染性にせよ炎症発現までには**生体内での免疫細胞の活性化やアラキドン酸カスケードの活性化が必須であり、この部分への介入による抗炎症についての理解と実践が重要である。**